



連携室だより

巻末コラム 44

暑さが日ごとに増してまいりましたが、いかがお過ごしですか。

平成30年7月12日に開催させていただいた病診連携懇話会には平日開催にもかかわらず、多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今年度は京都第一赤十字病院の取り組みを中心にご講演させていただきました。是非、今後とも期待いただき、多くの患者様をご紹介しますようお願い申し上げます。また、同時に歯科分科会を実施し、東山歯科医師会を中心に地域の訪問看護ステーション、居宅介護事業

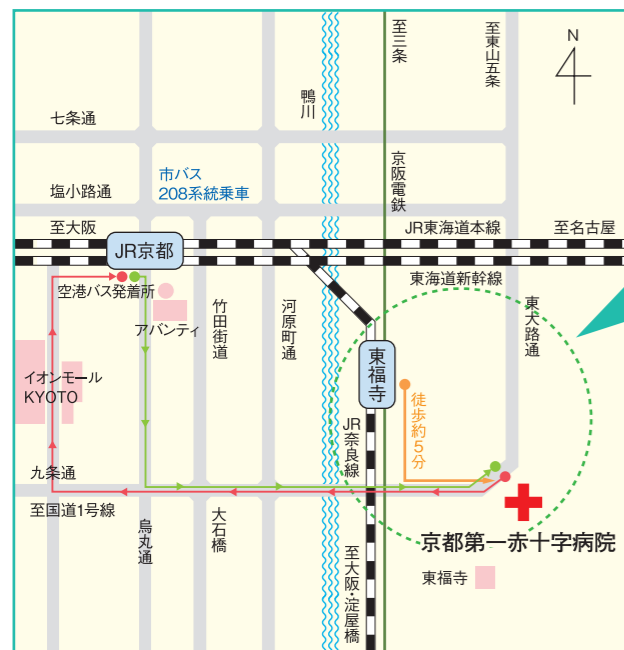
所、地域包括支援センター等の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。今後もより多くの方にご参加いただけるよう皆様のご意見を伺いながら、企画いたしますので、よろしく願いいたします。今年度の病診連携懇話会の模様は次回秋号にてご報告させていただきます。

これからも常に信頼され、地域の医療機関の皆様にご安心して紹介していただける体制づくりを心掛けてまいります。何かございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

地域医療連携室

Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】... 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】... 国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】... 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

無料シャトルタクシー運行のご案内【JR京都駅八条口⇄病院(地下鉄九条駅経由)】

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10、以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行しておりません。 ※12:30病院発の便は運行しておりません。

※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。
 ※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。
 ※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。

京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280
 FAX.075-533-1282

絆

泉山長老
 俊朝

京都第一赤だより

き す な

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
 患者さまにとって安心できる
 適切な医療を行ないます。

夏号

2018年7月発行
 vol. 69

Contents

診療科のご紹介	2,3
食道癌の光線力学療法(PDT)を開始しました	4,5
東福寺周産期カンファレンスの開催報告/就任のご挨拶	6
お知らせ	7

暑中お見舞い申し上げます。

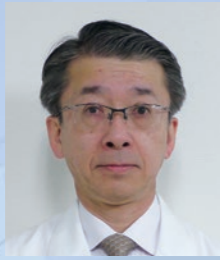
平素は患者さんのご紹介や転院・逆紹介につきご支援、ご協力いただき、心より感謝致します。

昨年から医療界も働き方改革の波に吞まれて行っておりますが、なぜ医療界に大きな改革が必要かという、ひとえに今までの日本の医療が医師の献身的な働きで成り立っていたということに他なりません。すなわち病院で患者さんが悪くなった時は、いつでも主治医が診てくれるという考えが原因となっています。医師の仕事は裁量労働制にはならないということなので、今後は変形労働時間制やタスクシフトなど、すべてを1人でこなすといった従来型から脱却しないと成り立ちません。そのためには医師自身の意識改革も必要で

すが、患者さんにも意識改革してもらうことが重要となってきます。これからの日本の医療界がどのような方向に向かっていくかは、2024年の法的な整備がされる頃にははっきりするものと思われます。

当院ももちろん働き方改革に取り組んでおりますが、急性期病院としての地域の皆様のニーズや若い先生の教育を考えると、すぐに業務の変更や縮小などを出来る状態ではありません。しかしこの改革を行なっていくためには、患者さんを1人の主治医あるいは1つの病院だけでなく、地域全体で診療していくという地域包括的な考え方が必要と考えます。今後も今一層のご支援、ご協力をお願いすることもありますが、何卒よろしく願い申し上げます。

循環器内科のご紹介



沢田 尚久 部長 ◆昭和61年卒

ウィリアム・オスラー医師は「人は血管とともに老いる」との名言を残しました。全ての心血管疾患について重症度と社会的背景を考慮しながら診断治療を実施するとともに、将来の意思決定能力低下に備えたアドバンス・ケア・プランニングも策定します。丁寧な対応と詳細な説明で満足いただけたと思います。ご紹介下さい。



兵庫 匡幸 副部長 ◆平成5年卒

冠動脈のカテーテル治療専門医、指導医として狭心症や心筋梗塞の診断・治療に従事しています。緊急性の有無、重症度や併存疾患など、患者背景を考慮して最適な治療を提案します。木曜はSAS専門外来を併設しており、外来簡易検査や入院精密PSG、CPAP導入後の管理も行っています。



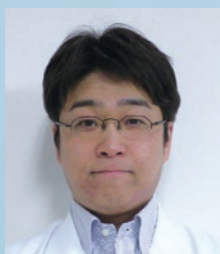
白石 淳 副部長 ◆平成6年卒

冠動脈カテーテル治療、狭心症、心筋梗塞
患者さんのメリットとリスクのバランスを重視した冠動脈カテーテル治療をモットーに循環器臨床に従事しております。ステントによる拡張が主体となりますが、川崎病後遺症等ステント留置が適さない場合には、ロータブレード、薬剤溶出型バルーン等で臨機応変に対応しております。お気軽にご紹介いただければ幸いです。



木下 英吾 医長 ◆平成14年卒

虚血性心疾患、心不全を中心に診療しております。循環器内科医としては中堅の立場となりましたが、さらに知識と経験を積み重ねて、それぞれの患者様にとって適切な医療を常に提供できるように心掛けています。高齢化社会において地域の先生方との連携は不可欠であり、地域医療の一翼を担えるよう尽力致します。



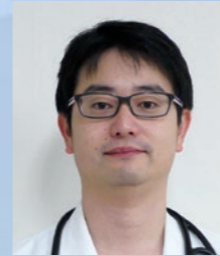
中川 裕介 医長 ◆平成14年卒

狭心症、心筋梗塞といった虚血性心疾患を中心に診療しております。心エコー図検査、冠動脈CT、心筋シンチグラムといった侵襲度の低い検査から必要に応じて心臓カテーテル検査の適応を模索します。カテーテル治療にとどまらず生活習慣病の管理を行うことで、患者様やかかりつけの先生方に安心いただける医療に尽力します。



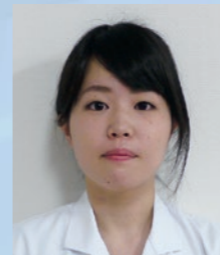
木村 雅喜 医長 ◆平成18年卒

末梢動脈疾患に対して他科とも良好な連携を取りながら、積極的に診療を実施しております。併存動脈硬化性疾患・リスクファクターの評価、生活習慣指導も行います。年間約200件の末梢動脈カテーテル治療経験を有する日本下肢救済足病学会認定師として下肢切断回避・QOL・生命予後の改善に努めます。



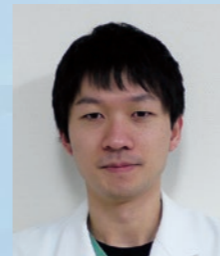
伊藤 大輔 医師 ◆平成20年卒

虚血性心疾患(冠動脈カテーテル治療)、心不全
虚血性心疾患の診断は一般的に冠動脈CTや冠動脈造影検査などの造影剤を使用いたします。しかし造影剤は腎機能を悪化させる可能性があるため腎障害患者様には不向きです。腎障害患者様には心筋シンチグラムを薦めております。心筋シンチグラムは腎臓に負担をかけない検査です。外来検査ですので、お気軽にご相談いただければ幸いです。



興 奈利子 後期専攻医 ◆平成27年卒

循環器疾患一般を担当しております。まだまだ若輩ものではありますが、丁寧な診療を心がけ、いつでも気兼ねなく相談していただけるような医師を目指しています。1人1人の患者さんにより良い医療が提供できるように全力で頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



西村 哲朗 後期専攻医 ◆平成27年卒

まだ勤めて間もないですが、若さを糧に心不全や狭心症、不整脈等幅広い分野に積極的に取り組んでいます。一人ひとりの患者様との関わりを大切に、地域の皆様に安心かつ安全な医療を提供できるように邁進しております。医療は日々進歩しており、患者様と共に成長していきたいと思っております。



松原 勇樹 後期専攻医 ◆平成27年卒

高齢者の多い東山区において、地域と連携した医療が出来るように心がけております。様々な患者様の背景に応じて、少しでもお力になれるように全力をつくしたいと思っておりますので、若輩者ではありますがお気軽にご紹介いただければ幸いです。

心臓センター・循環器内科 外来担当表

月	火	水	木	金
木下 英吾	兵庫 匡幸	木下 英吾	兵庫 匡幸 (睡眠時無呼吸)	興 / 西村 / 松原
中川 裕介	興 / 西村 / 松原	白石 淳	伊藤 大輔	中川 裕介
伊藤 大輔	木村 雅喜	沢田 尚久	白石 淳	沢田 尚久
14:30~予約診 白山 武司 白石 裕一 (不整脈)			15:00~予約診 木村 雅喜 (重症虚血肢)	

非常勤不整脈専門外来

白山 武司 | ◆昭和58年卒

京都府立医科大学内科学教室(循環器・腎臓内科学部門)准教授

白石 裕一 | ◆平成6年卒

京都府立医科大学内科学教室(循環器・腎臓内科学部門)助教



患者さまを
ご紹介ください

◆診察申込票(病院HPからダウンロード)を24時間対応FAX予約システム
075-533-1282に送信していただきますようお願いいたします。

◆緊急の患者搬送依頼やご相談は、24時間365日利用可能なホットライン
090-5975-7754にてご連絡をお待ち致しております。

必ず医師からご連絡ください

食道癌の光線力学療法（PDT）を開始しました

消化器内科 戸祭直也、山田真也、吉田憲正

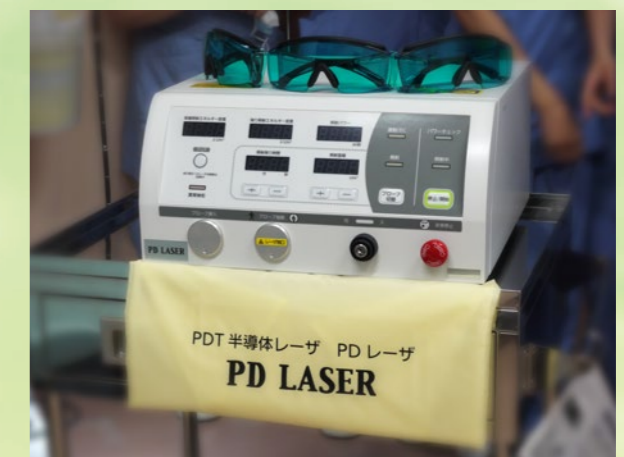
NBI (Narrow Band Imaging) を代表とした画像強調内視鏡の普及、加えて、胃癌の内視鏡検診が京都市でも2017年より開始になり、食道癌の発見例は増加しています。食道癌に関しては早期発見であれば、内視鏡的切除 (ESD) ができますが、当院では、少し進んだ症例であっても化学療法、放射線療法、外科的切除など、あらゆる治療に対応できます。なかでもESDは得意とするところで、年々症例数は増加しており、2017年は70件のESDを行いました。こういった食道癌患者が当院には多いという特徴を生かし、さらなる食道癌治療の一大拠点、先進的な施設を目指して、この度、光線力学療法 (PDT) ができる機器 (PDレーザー) をこの2018年4月に購入しました。治療適応は「食道癌化学放射線療法もしくは放射線療法後の局所遺残・再発」になります。もう少しわかりやすい表現をしますと、「放射線治療を行った食道癌患者のうち、転移している病変は制御できているけど、食道の局所には癌が残ってしまったような症例」が適応になります。このような患者さんは、今までは延々と化学療法を強いられるものの癌の消失を得られない方が大多数で治

療には難渋しましたが、このPDTは完全寛解を目指す画期的な治療になります。

光線力学療法 (PDT) は、レザフィリンという特殊な光感受性物質を直前に静脈投与してから、内視鏡を使って癌局所にレーザー照射を行い、発生した活性酸素によりがん細胞を死滅させる低侵襲の治療で、医師主導治験を経て、2015年に保険認可されました。この機器は、関西では京都大学医学部附属病院と大阪国際がんセンター、兵庫県立がんセンターについて、4番目の導入になり、全国でも26施設にしか設置されていません。病気と対象患者の特殊性から京都府全域、滋賀県、福井県南部、大阪府北部と広域にわたって紹介頂くことを視野に入れております。

レザフィリン投与後2週間は日光や明るい照明に一定時間あたると、皮膚の発赤などの光線過敏症が起きやすいので、その間は少し暗めのお部屋で入院して頂きます。従来のポルフィリン投与によるPDT療法と比べ、照明などに関する遮光制限が500ルクスまでは可と厳しくなく、総室入院でも対応可能です。従って、入院中、少し距離や照度調整すれば、患者さんはテレビの視聴やスマホ

を見たりもできます。治療後2日ほどの絶食は要しますが、医師主導治験の結果からは、重篤な合併症は少ないとされ、体への負担は小さくて済むのが特徴の内視鏡治療です。すでに5月に初回症例も治療いたしました。治療適応は広くない（上記以外に早期中心型肺癌も適応）のですが、一人でも多くの患者さんの役に立てるように努めて参りますので、遠方からもご紹介をお待ちしております。症例の相談などあれば消化器内科戸祭まで、ご連絡下さい。



第3回 東福寺周産期カンファレンス開催、 ならびに新生児科副部長拝命報告

新生児科 副部長 木下大介



2018年3月8日に、京都第一赤十字病院多目的ホールにおいて、第3回東福寺周産期カンファレンスを開催いたしました。院内外合わせて58名と、非常に多数の方々にご参加いただきました。本カンファレンスは、母体搬送・新生児搬送などでやり取りがある周産期施設の医師・助産師を対象に、日常臨床に即した講演を企画すると共に、顔の見える関係を構築し、地域の連携強化を行う事を目的に開催しています。今回は第3回目の開催で、院内外の医師から報告・講演が行われました。

当院新生児科の西村陽先生からは、「近年のRSV流行状況の変化」、京都府立医大小児科の山口美穂子先生からは、「出生後に気づかれて当院へ新生児搬送された先天性心疾患症例の検討」、当院新生児科菅原由実菜先生からは、「よくある新生児呼吸障害の鑑別と初期対応」、当院産婦人科

の安尾忠浩先生からは、「分娩マネジメント～みんなで胎児心拍モニターを解説しよう」というタイトルでそれぞれ魅力的なご講演をいただきました。事後アンケートでは、大変良かった:48%、良かった:51%と、大変ありがたいご評価をいただき、「周産期に関わる各職種間の風通しの良くなる集会だと思います」、「普段の業務では経験することのないお話を興味深く聞くことができました。このような会を地域で開催されていることを知ることができました。今後も引き続き開催してください」、「胎児心拍モニターについてすごくよくわかりました」などのフリーコメントもいただきました。今後も総合周産期センターの教育活動の一環として本カンファレンスを定期開催し、地域の周産期医療の連携強化に貢献していきたいと考えております。

また、新生児科の木下は京都府立医大と当院新生児科の人事交流のため、1年間不在にしておりましたが、2018年4月から当院に復帰し、新生児科副部長を拝命しております。当院の強みの一つである周産期医療の強化、ならびに小児・新生児医療従事者の育成に尽くしていきたいと考えております。ご支援のほどよろしく
お願い致します。



木下大介 / 卒業年:平成14年

専門領域:新生児・感染対策

認定医・専門等資格名:小児科専門医・指導医、周産期(新生児)専門医・指導医、
NCPRインストラクター、ICD、日本新生児成育医学会評議員・感染対策予防接種委員会委員

お知らせ Information

第11回 緩和ケア合同カンファレンス

【日 時】平成30年8月23日(木) 18時～19時30分

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

※詳細は別紙をご覧ください。

第18回 東福寺消化器フォーラム ～消化器診療のトピックス～

【日 時】平成30年9月20日(木) 19時～21時

【会 場】ホテルグランヴィア京都

※詳細は別紙をご覧ください。

京都第一赤十字病院 第10回 がん患者に携わる医療者対象の研修会

【日 時】平成30年9月28日(金)

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

※詳細は別紙をご覧ください。

第18回 京都第一赤十字病院 乳腺フォーラム

【日 時】平成30年9月29日(土) 10時～

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

※詳細は別紙をご覧ください。

平成30年度 第5回 京都第一赤十字病院看護フォーラム ～小児・周産期～

【日 時】平成30年12月8日(土) 13時～17時

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

お知らせ

病診連携懇話会を開催します

【日 時】平成30年7月12日(木) 17時30分～

【場 所】ハイアットリージェンシー京都

